

つづら おざき おおうら せん
葛籠尾崎大浦線

つづら おざき しお つ せん
葛籠尾崎塩津線

法面对策事業

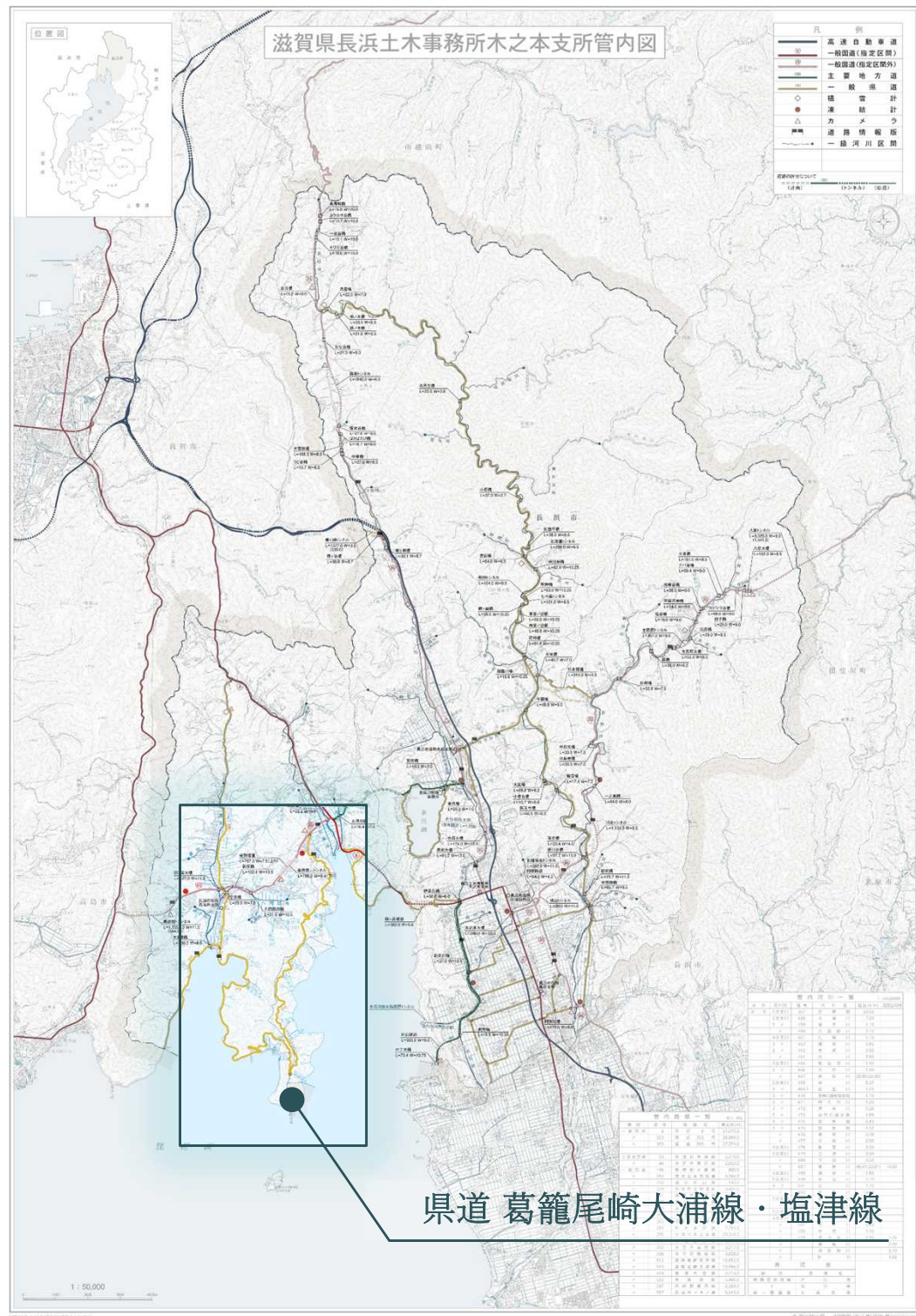
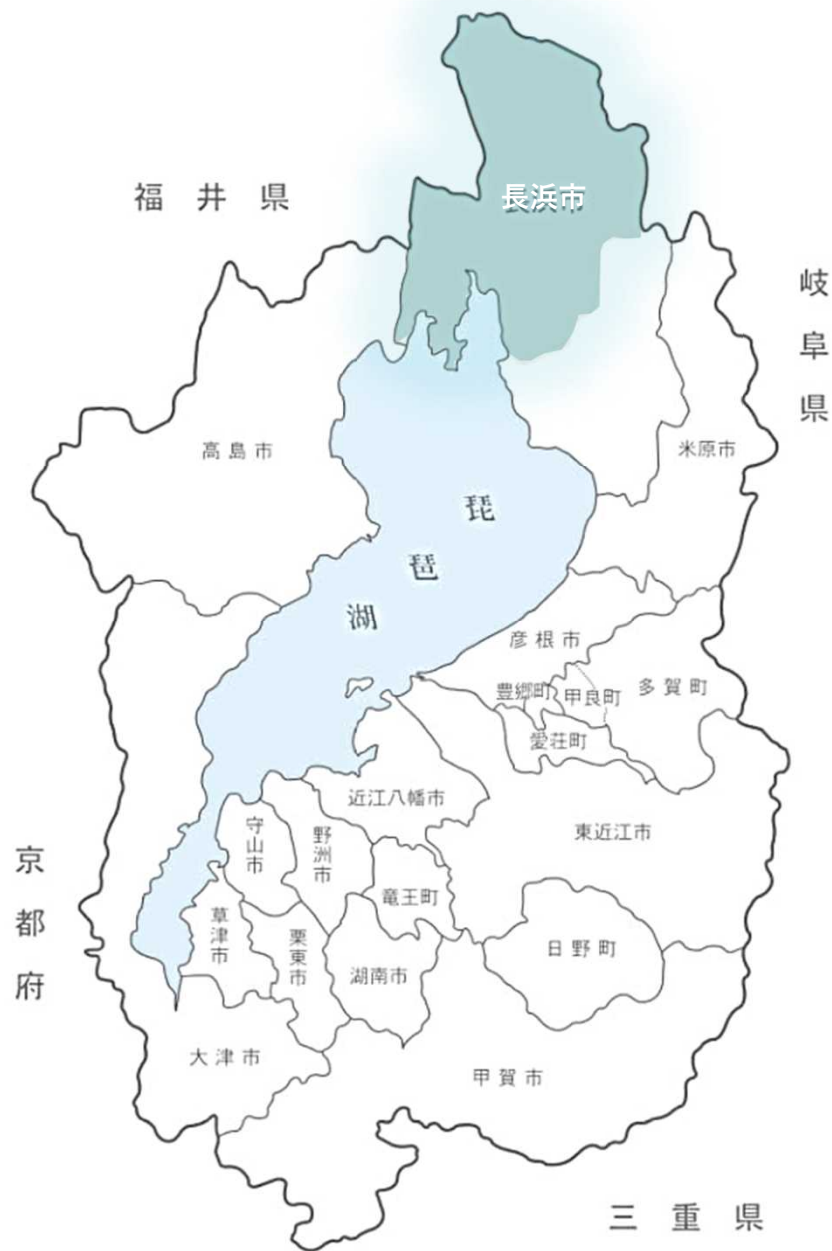
葛籠尾崎大浦線と葛籠尾崎塩津線は、
長浜市西浅井町菅浦に位置する山と琵琶湖に囲まれた県道です。

旧有料道路「奥琵琶湖パークウェイ」として親しまれ、
山頂には北琵琶湖を一望する展望台があります。

滋賀県長浜土木事務所木之本支所では、
法面災害の防除を目的として法面对策事業に取り組んでいます。



葛籠尾崎大浦線・塩津線の位置図



法面对策事業について

過去の豪雨では、不安定な地盤のゆるみ等が原因となり斜面崩壊が発生し、土砂や樹木が道路に流出しました。なお、当該路線は豪雨の際に基準雨量を超えた場合は通行止めを行っています。

滋賀県長浜土木事務所木之本支所では、毎年法面点検を行い危険箇所を調査しており、災害を防ぐことを目的とした法面对策工事を実施しています。

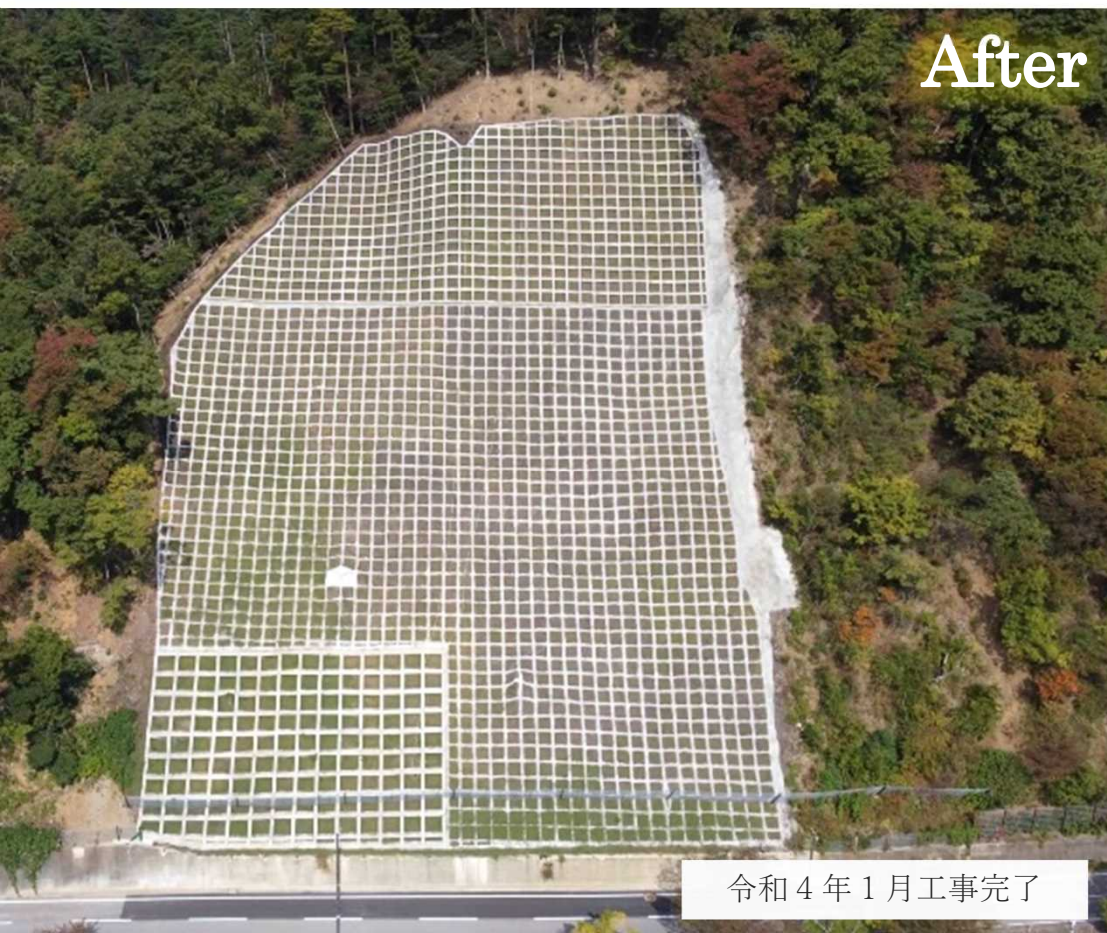


これまでの法面对策事業

法面 A 301

- 対策工法 -

- 法枠工
- 植生基材吹付工
- 鉄筋挿入工
- グラウンドアンカー工
- 落石防護柵工



法面 A 011

- 対策工法 -

- 法枠工
- 植生基材吹付工
- 鉄筋挿入工



これまでの法面对策事業

法面 A 321

- 対策工法 -

- 法枠工
- 植生基材吹付工
- グラウンドアンカー工
- 排水構造物工



法面 A 207

- 対策工法 -

- 法枠工
- 植生基材吹付工
- グラウンドアンカー工
- 鉄筋挿入工
- 落石防護網工



新技術活用の紹介

法面工事の現場は、高所・急傾斜地であることが多く危険が伴います。

近年はインフラ分野においても様々なDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用が試みられており、滋賀県発注工事でも積極的に導入を始めています。

これらを活用することで、作業の安全性を確保し、より高度で効率的な現場管理を目指します。

ICT活用

- Information and Communication Technology（情報通信技術） -

無人航空機（ドローン）や地上型レーザースキャナを用いて測量を行い、現地の三次元点群データを取得します。

従来は法面上で実物を計測する必要がありましたが、三次元点群データを用いることで机上で施工管理を行うことが可能となりました。



360度カメラ / ウェアラブルカメラ を用いた現場管理

現場以外の場所からも施工確認を行う、遠隔臨場を導入しています。360度カメラは、撮影地点の全天球型映像を取得することができ、離れた場所からでも臨場感ある映像を見ることができます。また、ウェアラブルカメラは作業者のヘルメット等に装着し、両手を塞がず安全に映像を届けことができます。

